

# インクルーシブ保育における現場の困り・ニーズ・外部支援に 求めるものに関する実態調査

## 【調査へのご協力の依頼】

・当研究会では公益財団法人日本財団の助成を受け、「障害の有無にかかわらず全ての子どもがともに過ごし育ち合うインクルーシブ保育を実現する」ことを目的とした調査研究を進めており、現在、保育所及びこども園におけるインクルーシブ保育の実態を把握するための質問紙調査を実施しております。本調査では、保育において障害のある子どもや特別な支援や配慮が必要な子どもが集団の中で共に過ごすことの良さや、困難さ・課題などの実態を把握することを目的としております。

・ご多用の折、お手を煩わせること、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただければ幸いです。なお、本調査は任意調査であり、調査に協力いただかなくても不利益や罰則などはございません。

・回答はGoogleフォームを用いて行います。Googleにログインしている場合は途中保存されますが、ログインしない場合は途中保存がされませんのでご注意ください。そのため、回答を開始する前に調査票をご覧ください、回答内容を予め準備してから開始してください。

・Googleフォームが使用できない場合は、Excelの調査票にご入いただき、下記の連絡先までメールにて送付してください。

・回答には30分程度かかります。

・本調査は、2024年（令和6年）年9月20日（金）15時までにご回答をお願いいたします。

・ご回答いただいた結果は、報告書として取りまとめます。また、ご回答いただいた調査票は統計分析にのみ使用し、ご回答者の許可なく貴園が特定される情報が公開されることはありません。

## 【ご回答方法】

■以下のリンクから回答フォームを開いて回答をお願いします。



※以下のいずれかの方法で回答フォームを開いてください。

まずはインターネットに接続したパソコンまたはスマートフォンを準備してください。

（パソコンの場合）

・上記回答フォームのリンク先（青文字、下線部分）をクリックしてください。

・クリックできない場合やクリックしても開かない場合には、リンク先「<https://forms.gle/LX8oKNAcZ4GV4ebr9>」を直接手入力で打ち込んでください。

（スマートフォンの場合）

・カメラより、QRコードを読み込んでください。

## 【調査内容に関するお問い合わせ】

社会福祉法人麦の子会 PRD室推進事業 事務局

担当：尾西・志智

E-MAIL：muginoko.inclusion@gmail.com

電話：080-7618-7771

（電話対応：火・水・木曜日 9：00-17：00）



■本調査では、障害のある子ども及び特別な支援や配慮が必要な子ども（気になる子どもなど）の範囲を以下のとおりいたします。

<インクルーシブ保育（保育におけるインクルージョン）>

・インクルーシブ保育とは、障害の有無、国籍、性別、性的指向に関係なく、すべての子どもと一緒に過ごし、育ち合う環境を作る保育の形態であり、すべての人が共に生きる「共生社会」の実現に向けた基盤を築くものだと考えています。

<障害のある子ども>

・以下の判定を受けた子ども

—視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、病弱・難病

自閉スペクトラム症（ASD）や注意欠如・多動症（ADHD）を含む発達障害、医療的ケア児

—自治体において障害のある子ども、または同等の支援を必要とする子どもとして判定を受けている子ども（※保護者からの障害児保育の支援の申請を受けていない子を含む）

<特別な支援や配慮が必要な子ども>

・診断や判定、認定は受けていないが、園での生活において困難を抱えており、特別な支援や配慮が必要と考えられる子ども

## 【アンケート内容】

- 1 基礎情報
- 2 園の理念や方針など園運営や現場での課題について
- 3 日常の保育について
- 4 インクルーシブ保育について
- 5 障害のある子どもの受入・在園状況
- 6 個別の指導計画について
- 7 共に保育を行うことについて
- 8 職員の専門性の向上・成長について
- 9 外部機関との連携について
- 10 インクルーシブ保育への具体的な取り組み